

## 特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合や、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して整理する必要がある場合に設置する会計です。平成26年度は15の特別会計があります。

会計別決算収支の状況は、次表のとおりです。

(単位：千円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支	歳入のうち他会計繰入金	歳出のうち他会計繰出金
国民健康保険（事業）	11,123,555	11,100,311	23,244	0	23,244	845,943	30,543
国民健康保険（直診）	290,985	290,985	0	0	0	105,903	0
後期高齢者医療	969,316	967,101	2,215	0	2,215	332,698	0
介護保険	8,513,027	8,292,133	220,894	0	220,894	1,187,801	0
介護予防支援	65,589	65,589	0	0	0	835	0
簡易水道	790,496	774,679	15,817	2,082	13,735	225,189	0
地方卸売市場	33,007	22,140	10,867	0	10,867	0	2,500
大島航路	63,660	63,660	0	0	0	7,503	0
土地区画整理	87,344	87,344	0	0	0	60,868	25,430
特定環境保全公共下水道	592,799	575,860	16,939	16,939	0	190,977	0
農業集落排水	502,785	502,785	0	0	0	294,779	0
漁業集落排水	213,436	213,436	0	0	0	168,162	0
小規模集合排水処理	13,754	13,754	0	0	0	12,868	0
生活排水処理	56,581	56,581	0	0	0	14,273	0
飲料水供給	36,309	36,107	202	202	0	31,986	0
合 計	23,352,642	23,062,464	290,178	19,223	270,955	3,479,784	58,473

※ 他会計繰入金のうち国民健康保険（直診勘定）は、一般会計及び国民健康保険事業勘定からの繰入金の合計である。

他会計繰入金は、34億7,978万円で、そのうち一般会計繰入金は、34億4,924万円です。繰入金を会計別にみると、主なものは、介護保険特別会計11億8,780万円、国民健康保険特別会計（事業勘定）8億4,594万円となっています。

### （1）国民健康保険特別会計（事業勘定）

#### ア 決算の概要

歳 入 額 11,123,555,123円

歳 出 額 11,100,310,681円

歳入歳出差引額 23,244,442円

本会計の決算額は、上記のとおりです。

決算収支の状況は、次表のとおりで、実質収支は2,324万円の黒字となっており、前年度実質収支を控除した単年度収支は、1,018万円の黒字となっています。

イ 歳入

予 算 現 額	11,259,841,000円		
調 定 額	11,710,878,189円	(予算現額に対する割合)	104.0%
収 入 済 額	11,123,555,123円	(予算現額に対する割合)	98.8%
		(調定額に対する割合)	95.0%
還 付 未 済 額	75,200円		
不 納 欠 損 額	54,329,484円		
収 入 未 済 額	533,068,782円	(調定額に対する割合)	4.6%

収入済額は、111億2,355万円となっており、収入未済額は、5億3,306万円となっています。

収入済額の款別年度比較は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
国民健康保険税	1,994,764	17.9	2,088,436	18.9	△ 93,672	△ 4.5
使用料及び手数料	1,378	0.0	1,462	0.0	△ 84	△ 5.7
国庫支出金	2,901,839	26.1	3,029,374	27.5	△ 127,535	△ 4.2
療養給付費等交付金	220,233	2.0	228,119	2.1	△ 7,886	△ 3.5
前期高齢者交付金	2,866,662	25.8	2,894,796	26.2	△ 28,134	△ 1.0
県支出金	640,708	5.8	557,333	5.1	83,375	15.0
共同事業交付金	1,293,832	11.6	1,257,090	11.4	36,742	2.9
財産収入	439	0.0	546	0.0	△ 107	△ 19.6
繰入金	1,155,943	10.4	906,297	8.2	249,646	27.5
繰越金	13,061	0.1	27,701	0.3	△ 14,640	△ 52.9
諸収入	34,697	0.3	37,826	0.3	△ 3,129	△ 8.3
計	11,123,555	100.0	11,028,980	100.0	94,575	0.9

歳入決算額は、前年度に比べ9,457万円(0.9%)増加しています。これは、主に国庫支出金が1億2,753万円(4.2%)、国民健康保険税が9,367万円(4.5%)それぞれ減少したものの、繰入金が2億4,964万円(27.5%)、県支出金が8,337万円(15.0%)それぞれ増加したことによるものです。

歳入の主なものは、国庫支出金(26.1%)、前期高齢者交付金(25.8%)、国民健康保険税

(17.9%)、共同事業交付金 (11.6%)、繰入金 (10.4%) です。

国民健康保険税収入状況の年度比較は、次表のとおりです。

国民健康保険税収入状況

(単位：千円、%)

区 分		平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
					増減額	増減率
現年課税分	調 定 額	2,011,668	2,117,996	2,217,858	△ 106,328	△ 5.0
	収 入 済 額	1,882,760	1,979,967	2,075,374	△ 97,207	△ 4.9
	不 納 欠 損 額	256	1,348	911	△ 1,092	△ 81.0
	還 付 未 済 額	75	32	9	43	134.4
	収 入 未 済 額	128,727	136,713	141,582	△ 7,986	△ 5.8
	収 納 率	93.6	93.5	93.6	0.1	—
滞納繰越分	調 定 額	570,367	615,898	677,443	△ 45,531	△ 7.4
	収 入 済 額	112,004	108,468	121,272	3,536	3.3
	不 納 欠 損 額	54,073	66,526	70,636	△ 12,453	△ 18.7
	還 付 未 済 額	0	0	0	0	—
	収 入 未 済 額	404,290	440,904	485,535	△ 36,614	△ 8.3
	収 納 率	19.6	17.6	17.9	2.0	—
合 計	調 定 額	2,582,035	2,733,894	2,895,301	△ 151,859	△ 5.6
	収 入 済 額	1,994,764	2,088,435	2,196,646	△ 93,671	△ 4.5
	不 納 欠 損 額	54,329	67,874	71,547	△ 13,545	△ 20.0
	還 付 未 済 額	75	32	9	43	134.4
	収 入 未 済 額	533,017	577,617	627,117	△ 44,600	△ 7.7
	収 納 率	77.3	76.4	75.9	0.9	—

国民健康保険税の調定額は、前年度に比べ1億5,185万円(5.6%)減少し、収入済額は、9,367万円(4.5%)減少しています。

収納率は、現年課税分が93.6%で、前年度に比べ0.1ポイント、滞納繰越分が19.6%で、前年度に比べ2.0ポイントそれぞれ向上し、現年・滞納繰越合計の収納率は、77.3%となり、前年度に比べ0.9ポイント向上しています。

不納欠損額は、5,432万円で、前年度に比べ1,354万円(20.0%)減少しています。

収入未済額は、5億3,301万円で、前年度に比べ4,460万円(7.7%)減少しています。

国保財政の健全化及び税負担の公平性の観点からも、引き続き収納対策を強化するとともに、収納率の向上に努めていただきたい。

ウ 歳出

予算現額	11,259,841,000円		
支出済額	11,100,310,681円	(予算現額に対する割合	98.6%)
不用額	159,530,319円		

支出済額は、111億31万円となっています。

支出済額の款別年度別比較は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総務費	148,992	1.3	153,889	1.4	△4,897	△3.2
保険給付費	7,526,519	67.8	7,485,230	67.9	41,289	0.6
後期高齢者支援金	1,250,574	11.3	1,284,825	11.7	△34,251	△2.7
前期高齢者納付金	957	0.0	1,266	0.0	△309	△24.4
老人保健拠出金	56	0.0	60	0.0	△4	△6.7
介護納付金	570,345	5.2	589,656	5.3	△19,311	△3.3
共同事業拠出金	1,357,560	12.2	1,239,978	11.3	117,582	9.5
保健事業	83,450	0.8	78,785	0.7	4,665	5.9
基金積立金	13,500	0.1	28,247	0.3	△14,747	△52.2
公債費	0	0.0	0	0.0	0	—
諸支出金	148,358	1.3	153,982	1.4	△5,624	△3.7
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	11,100,311	100.0	11,015,919	100.0	84,392	0.8

歳出決算額111億31万円は、前年度に比べ8,439万円(0.8%)増加しています。これは、主に後期高齢者支援金が3,425万円(2.7%)、介護納付金が1,931万円(3.3%)それぞれ減少したものの、共同事業拠出金が1億1,758万円(9.5%)、保険給付費が4,128万円(0.6%)それぞれ増加したことによるものです。

事業の概況は、次表のとおりです。

事業の概況

区 分	単位	平成26年度	平成25年度	対前年度比較	
				増減	増減率 (%)
平均加入世帯数	世帯	13,821	14,182	△ 361	△ 2.5
平均被保険者数	人	23,255	24,246	△ 991	△ 4.1
保険税額(現年課税分)	千円	2,011,668	2,117,996	△ 106,328	△ 5.0
1世帯当たり保険税額	円	145,552	149,344	△ 3,792	△ 2.5
1人当たり保険税額	円	86,505	87,354	△ 849	△ 1.0
療養諸費件数	件	373,473	378,974	△ 5,501	△ 1.5
療養諸費費用額	千円	8,943,460	8,943,250	210	0.0
1件当たり療養諸費費用額	円	23,947	23,599	348	1.5
1人当たり療養諸費費用額	円	384,582	368,855	15,727	4.3
診療費件数	件	240,690	243,579	△ 2,889	△ 1.2
1人当たり受診件数	件	10.35	10.05	0.3	3.0

※療養諸費とは、療養（医療）の給付＋療養（医療）費等である。

※療養諸費件数とは、毎月保険医療機関等が審査機関に提出する診療報酬明細書の枚数である。

（診療報酬明細書は1人の患者に、月ごと保険医療機関等ごとに1枚作成する。）

平均加入世帯数、平均被保険者数、保険税額、療養諸費件数及び診療費件数などは、それぞれ減少していますが、療養諸費費用額や1人当たり受診件数などは、それぞれ増加しています。

(2) 国民健康保険特別会計(直診勘定)

ア 決算の概要

予 算 現 額	303,758,000円		
調 定 額	290,984,892円	(予算現額に対する割合	95.8%)
収 入 済 額	290,984,892円	(予算現額に対する割合	95.8%)
		(調定額に対する割合	100.0%)
歳 出 決 算 額	290,984,892円	(予算現額に対する割合	95.8%)
歳入歳出差引額	0円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額、歳出決算額は、ともに2億9,098万円で、歳入歳出差引額は、0円です。

## イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
診 療 収 入	114,873	39.5	191,156	65.0	△ 76,283	△ 39.9
使用料及び手数料	1,802	0.6	1,395	0.5	407	29.2
県 支 出 金	22,166	7.6	6,714	2.3	15,452	230.1
財 産 収 入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
繰 入 金	105,903	36.4	77,462	26.3	28,441	36.7
諸 収 入	1,039	0.4	6,303	2.1	△ 5,264	△ 83.5
市 債	45,200	15.5	11,100	3.8	34,100	307.2
計	290,985	100.0	294,132	100.0	△ 3,147	△ 1.1

歳入決算額は、前年度に比べ314万円(1.1%)減少しています。これは、主に市債が3,410万円(307.2%)、繰入金が2,844万円(36.7%)それぞれ増加しているものの、診療収入が7,628万円(39.9%)、諸収入が526万円(83.5%)それぞれ減少したことによるものです。診療収入の減は、主に鶴見診療所が本年度から指定管理となったことによるものです。

## ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総 務 費	185,324	63.7	154,730	52.6	30,594	19.8
医 業 費	82,836	28.5	116,219	39.5	△ 33,383	△ 28.7
公 債 費	22,825	7.8	23,183	7.9	△ 358	△ 1.5
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	290,985	100.0	294,132	100.0	△ 3,147	△ 1.1

歳出決算額は、前年度に比べ314万円(1.1%)減少しています。これは、医業費が3,338万円(28.7%)、公債費が35万円(1.5%)それぞれ減少したことによるものです。医業費の減は、主に医療用衛生材料費(鶴見診療所分)の減によるものであり、総務費の増は、主に因尾診療所移転に伴う本匠保健センター改修工事請負費によるものです。

(3) 後期高齢者医療特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	972,706,000円		
調 定 額	974,592,124円	(予算現額に対する割合	100.2%)
収 入 済 額	969,316,214円	(予算現額に対する割合	99.7%)
		(調定額に対する割合	99.5%)
歳 出 決 算 額	967,101,114円	(予算現額に対する割合	99.4%)
歳入歳出差引額	2,215,100円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額は、9億6,931万円、歳出決算額は、9億6,710万円で、歳入歳出差引額は、221万円です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
後期高齢者医療保険料	619,469	63.9	627,540	65.1	△ 8,071	△ 1.3
使用料及び手数料	199	0.0	160	0.0	39	24.4
寄 附 金	0	0.0	0	0.0	0	—
繰 入 金	332,698	34.3	317,745	33.0	14,953	4.7
繰 越 金	645	0.1	2,954	0.3	△ 2,309	△ 78.2
諸 収 入	16,306	1.7	15,308	1.6	998	6.5
計	969,316	100.0	963,707	100.0	5,609	0.6

歳入決算額は、前年度に比べ560万円(0.6%)増加しています。これは、主に後期高齢者医療保険料が807万円(1.3%)、繰越金が230万円(78.2%)それぞれ減少したものの、繰入金が1,495万円(4.7%)増加したことによるものです。

後期高齢者医療保険料収入状況は、次表のとおりです。

## 後期高齢者医療保険料収入状況

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
調 定 額	624,745	634,819	637,469	△ 10,074	△ 1.6
収 入 済 額	619,469	627,540	629,928	△ 8,071	△ 1.3
不 納 欠 損 額	1,266	733	1,048	533	72.7
還 付 未 済 額	265	284	32	△ 19	△ 6.7
収 入 未 済 額	4,275	6,830	6,525	△ 2,555	△ 37.4
収 納 率	99.2	98.9	98.8	0.3	—

保険料の収納率は、99.2%で、前年度に比べ0.3ポイント向上しています。

不納欠損額は、126万円で、前年度に比べ53万円(72.7%)増加しています。

収入未済額は、427万円で、前年度に比べ255万円(37.4%)減少しています。保険料の消滅時効は、2年となっていますことから、引き続き収入未済額の減少に努めていただきたい。

## ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総 務 費	22,512	2.3	22,206	2.3	306	1.4
分担金及び負担金	943,581	97.6	940,571	97.7	3,010	0.3
諸 支 出 金	1,008	0.1	286	0.0	722	252.4
計	967,101	100.0	963,062	100.0	4,039	0.4

歳出決算額は、前年度に比べ403万円(0.4%)増加しています。これは、主に分担金及び負担金が301万円(0.3%)増加したことによるものです。

(4) 介護保険特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	8,569,117,000円		
調 定 額	8,560,700,643円	(予算現額に対する割合	99.9%)
収 入 済 額	8,513,026,755円	(予算現額に対する割合	99.3%)
		(調定額に対する割合	99.4%)
歳 出 決 算 額	8,292,133,237円	(予算現額に対する割合	96.8%)
歳入歳出差引額	220,893,518円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額は、85億1,302万円、歳出決算額は、82億9,213万円で、歳入歳出差引額は、2億2,089万円です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
保 険 料	1,509,600	17.7	1,470,225	17.5	39,375	2.7
使用料及び手数料	328	0.0	270	0.0	58	21.5
国 庫 支 出 金	2,241,270	26.3	2,212,207	26.3	29,063	1.3
支 払 基 金 交 付 金	2,283,088	26.8	2,279,803	27.1	3,285	0.1
県 支 出 金	1,132,216	13.3	1,139,783	13.6	△ 7,567	△ 0.7
財 産 収 入	361	0.0	252	0.0	109	43.3
繰 入 金	1,187,801	14.0	1,192,959	14.2	△ 5,158	△ 0.4
繰 越 金	156,799	1.9	106,759	1.3	50,040	46.9
分担金及び負担金	57	0.0	43	0.0	14	32.6
諸 収 入	1,507	0.0	654	0.0	853	130.4
計	8,513,027	100.0	8,402,956	100.0	110,071	1.3

歳入決算額は、前年度に比べ1億1,007万円(1.3%)増加しています。これは、主に県支出金が756万円(0.7%)減少したものの、繰越金が5,004万円(46.9%)、保険料が3,937万円(2.7%)、国庫支出金が2,906万円(1.3%)それぞれ増加したことによるものです。

介護保険料収入状況は、次表のとおりです。

## 介護保険料収入状況

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
調 定 額	1,557,239	1,513,401	1,472,001	43,838	2.9
収 入 済 額	1,509,600	1,470,225	1,434,670	39,375	2.7
不 納 欠 損 額	12,399	8,084	9,153	4,315	53.4
還 付 未 済 額	692	502	115	190	37.8
収 入 未 済 額	35,932	35,594	28,293	338	0.9
収 納 率	96.9	97.1	97.5	△ 0.2	—

介護保険料の収納率は、前年度に比べ0.2ポイント低下して96.9%となっています。

不納欠損額は、前年度に比べ431万円(53.4%)増加して1,239万円となり、収入未済額は、33万円(0.9%)増加して3,593万円となっています。保険料の消滅時効は、2年となっていることから、未納者の調査や督促通知などを迅速に行い、不納欠損額及び収入未済額の減少に努めていただきたい。

## ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総 務 費	202,946	2.4	196,984	2.4	5,962	3.0
保 険 給 付 費	7,719,652	93.1	7,785,929	94.4	△ 66,277	△ 0.9
地 域 支 援 事 業 費	158,466	1.9	137,731	1.7	20,735	15.1
基 金 積 立 金	157,160	1.9	107,011	1.3	50,149	46.9
諸 支 出 金	53,909	0.7	18,502	0.2	35,407	191.4
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	8,292,133	100.0	8,246,158	100.0	45,975	0.6

歳出決算額は、前年度に比べ4,597万円(0.6%)増加しています。これは、主に保険給付費が6,627万円(0.9%)減少したものの、基金積立金が5,014万円(46.9%)、諸支出金が3,540万円(191.4%)、地域支援事業費が2,073万円(15.1%)それぞれ増加したことによるものです。

介護保険サービス給付状況

(単位：件、千円、%)

区分	平成26年度		平成25年度		対前年度増減				
	件数	給付費	件数	給付費	件数	率	給付費	率	
居宅サービス	訪問サービス	21,669	1,404,555	21,899	1,428,092	△ 230	△ 1.1	△ 23,537	△ 1.6
	通所サービス	23,273	1,431,740	22,994	1,436,179	279	1.2	△ 4,439	△ 0.3
	短期入所サービス	3,713	365,549	3,882	396,788	△ 169	△ 4.4	△ 31,239	△ 7.9
	福祉用具購入	404	11,025	404	9,788	0	0.0	1,237	12.6
	住宅改修	397	32,315	424	33,726	△ 27	△ 6.4	△ 1,411	△ 4.2
	計	49,456	3,245,184	49,603	3,304,573	△ 147	△ 0.3	△ 59,389	△ 1.8
地域密着型サービス	認知症対応型通所介護	840	84,050	876	82,777	△ 36	△ 4.1	1,273	1.5
	小規模多機能型居宅介護	311	40,552	285	38,477	26	9.1	2,074	5.4
	認知症対応型共同生活介護	2,105	493,389	2,134	502,827	△ 29	△ 1.4	△ 9,438	△ 1.9
	地域密着型介護老人福祉施設	1,191	299,209	952	231,023	239	25.1	68,185	29.5
	計	4,447	917,200	4,247	855,104	200	4.7	62,096	7.3
施設サービス	介護老人福祉施設	4,258	1,035,081	4,501	1,087,330	△ 243	△ 5.4	△ 52,249	△ 4.8
	介護老人保健施設	4,631	1,159,529	4,648	1,166,265	△ 17	△ 0.4	△ 6,736	△ 0.6
	介護療養型医療施設	12	4,597	17	5,975	△ 5	△ 29.4	△ 1,378	△ 23.1
	計	8,901	2,199,207	9,166	2,259,570	△ 265	△ 2.9	△ 60,363	△ 2.7
合計	62,804	6,361,590	63,016	6,419,246	△ 212	△ 0.3	△ 57,657	△ 0.9	

介護保険サービス給付状況については、地域密着型サービスの件数が前年度に比べ200件(4.7%)、給付費が6,209万円(7.3%)増加したものの、居宅サービス、施設サービスの給付件数、給付費はそれぞれ減少しています。サービス全体の件数は62,804件で、給付費は63億6,159万円です。

(5) 介護予防支援事業特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	66,664,000円		
調 定 額	65,588,903円	(予算現額に対する割合	98.4%)
収 入 済 額	65,588,903円	(予算現額に対する割合	98.4%)
		(調定額に対する割合	100.0%)
歳 出 決 算 額	65,588,903円	(予算現額に対する割合	98.4%)
歳入歳出差引額	0円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額と歳出決算額は、ともに6,558万円で、実質収支は、0円です。

## イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
サービス収入	64,754	98.7	60,818	91.4	3,936	6.5
繰入金	835	1.3	5,720	8.6	△ 4,885	△ 85.4
計	65,589	100.0	66,538	100.0	△ 949	△ 1.4

歳入決算額は、前年度に比べ94万円(1.4%)減少しています。これは、サービス収入が393万円(6.5%)増加したものの、繰入金が488万円(85.4%)減少したことによるものです。

## ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
サービス事業費	65,589	100.0	66,538	100.0	△ 949	△ 1.4
計	65,589	100.0	66,538	100.0	△ 949	△ 1.4

歳出決算額は、前年度に比べ94万円(1.4%)減少しています。

## (6) 簡易水道事業特別会計

### ア 決算の概要

予算現額	831,510,000円		
調定額	826,039,596円	(予算現額に対する割合)	99.3%
収入済額	790,495,969円	(予算現額に対する割合)	95.1%
		(調定額に対する割合)	95.7%
歳出決算額	774,679,081円	(予算現額に対する割合)	93.2%
歳入歳出差引額	15,816,888円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額は、7億9,049万円、歳出決算額は、7億7,467万円で、歳入歳出差引額は、1,581万円です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	2,187	0.3	1,117	0.2	1,070	95.8
使用料及び手数料	317,745	40.2	317,387	45.5	358	0.1
国庫支出金	37,300	4.7	12,500	1.8	24,800	198.4
財産収入	27	0.0	23	0.0	4	17.4
繰入金	225,189	28.5	218,594	31.4	6,595	3.0
繰越金	24,288	3.1	32,885	4.7	△ 8,597	△ 26.1
諸収入	60,159	7.6	60,774	8.7	△ 615	△ 1.0
市債	123,600	15.6	54,000	7.7	69,600	128.9
計	790,496	100.0	697,280	100.0	93,216	13.4

歳入決算額は、前年度に比べ9,321万円(13.4%)増加しています。これは主に、繰越金が859万円(26.1%)減少したものの、市債が6,960万円(128.9%)、国庫支出金が2,480万円(198.4%)それぞれ増加したことによるものです。

使用料収入状況は、次表のとおりです。

使用料収入状況

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
調定額	328,250	329,734	332,910	△ 1,484	△ 0.5
収入済額	317,645	317,315	319,758	330	0.1
不納欠損額	449	456	383	△ 7	△ 1.5
収入未済額	10,155	11,963	12,768	△ 1,808	△ 15.1
収納率	96.8	96.2	96.0	0.6	—

使用料収入状況は、前年度に比べ収納率が0.6ポイント向上しています。収入未済額は、前年度に比べ180万円(15.1%)減少しています。引き続き収入未済額及び不納欠損額の減少に努めていただきたい。

## ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
簡易水道費	479,381	61.9	373,231	55.5	106,150	28.4
公債費	295,298	38.1	299,760	44.5	△ 4,462	△ 1.5
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	774,679	100.0	672,991	100.0	101,688	15.1

歳出決算額は、前年度に比べ1億168万円(15.1%)増加しています。これは、公債費が446万円(1.5%)減少したものの、簡易水道費が1億615万円(28.4%)増加したことによるものです。簡易水道費の増は、主に宇目東部大原重岡統合簡易水道整備事業の工事請負費です。

なお、繰越明許費繰越額は、3,708万円で、送配水管整備単独事業です。

### (7) 地方卸売市場事業特別会計

#### ア 決算の概要

予 算 現 額	32,238,000円		
調 定 額	33,007,411円	(予算現額に対する割合	102.4%)
収 入 済 額	33,007,411円	(予算現額に対する割合	102.4%)
		(調定額に対する割合	100.0%)
歳 出 決 算 額	22,139,963円	(予算現額に対する割合	68.7%)
歳入歳出差引額	10,867,448円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額は、3,300万円、歳出決算額は、2,213万円で、歳入歳出差引額は、1,086万円です。

## イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
使用料及び手数料	26,383	79.9	24,449	48.3	1,934	7.9
財 産 収 入	21	0.1	16	0.0	5	31.3
繰 入 金	0	0.0	19,815	39.1	△ 19,815	皆減
繰 越 金	6,602	20.0	6,365	12.6	237	3.7
諸 収 入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
計	33,007	100.0	50,645	100.0	△ 17,638	△ 34.8

歳入決算額は、前年度に比べ1,763万円(34.8%)減少しています。これは、主に繰入金が皆減したことによるものです。

## ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
市 場 費	22,140	100.0	44,044	100.0	△ 21,904	△ 49.7
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	22,140	100.0	44,044	100.0	△ 21,904	△ 49.7

歳出決算額は、前年度に比べ2,190万円(49.7%)減少しています。これは、主に市場事業費(葛港市場移転改築事業)の減によるものです。

## (8) 大島航路事業特別会計

### ア 決算の概要

予 算 現 額	66,263,000円		
調 定 額	63,660,011円	(予算現額に対する割合	96.1%)
収 入 済 額	63,660,011円	(予算現額に対する割合	96.1%)
		(調定額に対する割合	100.0%)
歳 出 決 算 額	63,660,011円	(予算現額に対する割合	96.1%)
歳入歳出差引額	0円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額、歳出決算額は、ともに6,366万円で、歳入歳出差引額は、0円です。

#### イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
事業収入	13,624	21.4	15,375	26.5	△ 1,751	△ 11.4
国庫支出金	19,469	30.6	12,111	20.9	7,358	60.8
県支出金	22,858	35.9	15,123	26.0	7,735	51.1
繰入金	7,503	11.8	11,667	20.1	△ 4,164	△ 35.7
繰越金	0	0.0	0	0.0	0	—
諸収入	206	0.3	147	0.2	59	40.1
消費税還付金	0	0.0	3,638	6.3	△ 3,638	皆減
計	63,660	100.0	58,061	100.0	5,599	9.6

歳入決算額は、前年度に比べ559万円(9.6%)増加しています。これは、繰入金が416万円(35.7%)、消費税還付金が363万円(皆減)、事業収入が175万円(11.4%)それぞれ減少したものの、県支出金が773万円(51.1%)、国庫支出金が735万円(60.8%)それぞれ増加したことによるものです。

#### ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総務費	18,665	29.3	17,547	30.2	1,118	6.4
事業費	41,077	64.5	39,277	67.7	1,800	4.6
公債費	3,918	6.2	1,237	2.1	2,681	216.7
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	63,660	100.0	58,061	100.0	5,599	9.6

歳出決算額は、前年度に比べ559万円(9.6%)増加しています。

(9) 土地区画整理事業特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	87,347,000円		
調 定 額	87,344,484円	(予算現額に対する割合	100.0%)
収 入 済 額	87,344,484円	(予算現額に対する割合	100.0%)
		(調定額に対する割合	100.0%)
歳 出 決 算 額	87,344,484円	(予算現額に対する割合	100.0%)
歳入歳出差引額	0円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額、歳出決算額は、ともに8,734万円で、歳入歳出差引額は、0円です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	26,476	30.3	19,561	24.0	6,915	35.4
繰 入 金	60,868	69.7	60,868	74.6	0	0.0
諸 収 入	0	0.0	1,188	1.4	△ 1,188	皆減
計	87,344	100.0	81,617	100.0	5,727	7.0

歳入決算額は、前年度に比べ572万円(7.0%)増加しています。これは、主に諸収入が118万円皆減したものの、分担金及び負担金が691万円(35.4%)増加したことによるものです。

ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
土地区画整理事業費	26,476	30.3	20,749	25.4	5,727	27.6
公 債 費	60,868	69.7	60,868	74.6	0	0.0
計	87,344	100.0	81,617	100.0	5,727	7.0

歳出決算額は、前年度に比べ572万円(7.0%)増加しています。これは、土地区画整理事業費が増加したことによるものです。

(10) 特定環境保全公共下水道事業特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	824,400,000円		
調 定 額	785,636,468円	(予算現額に対する割合	95.3%)
収 入 済 額	592,798,745円	(予算現額に対する割合	71.9%)
		(調定額に対する割合	75.5%)
歳 出 決 算 額	575,859,745円	(予算現額に対する割合	69.9%)
歳入歳出差引額	16,939,000円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額は、5億9,279万円、歳出決算額は、5億7,585万円で、歳入歳出差引額は、1,693万円です。

主な事業は、上浦、鶴見、蒲江地区の処理場の維持管理事業及び建設改良事業（蒲江）です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	8,049	1.4	7,607	1.4	442	5.8
使用料及び手数料	51,230	8.6	48,176	8.6	3,054	6.3
国庫支出金	135,127	22.8	131,730	23.5	3,397	2.6
県支出金	7,287	1.2	7,234	1.3	53	0.7
財産収入	3	0.0	3	0.0	0	0.0
繰入金	198,214	33.5	145,525	26.0	52,689	36.2
繰越金	7,970	1.3	11,688	2.1	△ 3,718	△ 31.8
諸収入	23,939	4.0	19,783	3.5	4,156	21.0
市債	158,600	26.8	185,400	33.1	△ 26,800	△ 14.5
消費税還付金	2,379	0.4	2,619	0.5	△ 240	△ 9.2
計	592,799	100.0	559,765	100.0	33,034	5.9

歳入決算額は、前年度に比べ3,303万円(5.9%)増加しています。これは、主に市債が2,680万円(14.5%)減少したものの、繰入金が5,268万円(36.2%)、諸収入が415万円(21.0%)それぞれ増加したことによるものです。

使用料収入状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
調 定 額	52,155	49,041	47,793	3,114	6.3
収 入 済 額	51,230	48,176	46,854	3,054	6.3
不 納 欠 損 額	19	6	28	13	216.7
収 入 未 済 額	906	859	911	47	5.5
収 納 率	98.2	98.2	98.0	0.0	—

使用料の収納率は、98.2%で、前年度と同率です。

不納欠損額は、1万9千円で、前年度に比べ1万3千円（216.7%）増加しています。

収入未済額は、90万円で、前年度に比べ4万円（5.5%）増加しています。引き続き徴収強化に努めていただきたい。

#### ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
特環下水道費	476,898	82.8	455,958	82.6	20,940	4.6
公 債 費	98,962	17.2	95,837	17.4	3,125	3.3
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	575,860	100.0	551,795	100.0	24,065	4.4

歳出決算額は、前年度に比べ2,406万円（4.4%）増加しています。これは、主に特環下水道費が2,094万円（4.6%）増加したことによるものです。特環下水道費の増の主なものは、上浦、鶴見、蒲江地区の維持管理費です。

なお、繰越明許費繰越額は、2億864万円で、蒲江建設改良費です。

水洗化率は、上浦地区が84.6%で、前年度に比べ0.2ポイント向上しています。鶴見地区は、99.6%で、前年度に比べ0.1ポイント低下しています。蒲江地区は、49.5%で、前年度に比べ17.6ポイント向上しています。今後も更なる水洗化の促進に努めていただきたい。

(11) 農業集落排水事業特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	507,037,000円		
調 定 額	505,052,408円	(予算現額に対する割合	99.6%)
収 入 済 額	502,785,233円	(予算現額に対する割合	99.2%)
		(調定額に対する割合	99.6%)
歳 出 決 算 額	502,785,233円	(予算現額に対する割合	99.2%)
歳入歳出差引額	0円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額、歳出決算額は、ともに5億278万円で、歳入歳出差引額は、0円です。

主な事業は、井崎地区等10地区の処理場の維持管理事業です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	1,430	0.3	1,270	0.2	160	12.6
使用料及び手数料	96,008	19.1	93,942	18.3	2,066	2.2
国庫支出金	40,899	8.1	57,236	11.1	△ 16,337	△ 28.5
県支出金	11,124	2.2	11,106	2.2	18	0.2
財産収入	5	0.0	4	0.0	1	25.0
繰入金	305,889	60.9	292,163	56.8	13,726	4.7
繰越金	214	0.0	1,871	0.4	△ 1,657	△ 88.6
諸収入	16	0.0	59	0.0	△ 43	△ 72.9
市債	47,200	9.4	56,800	11.0	△ 9,600	△ 16.9
計	502,785	100.0	514,451	100.0	△ 11,666	△ 2.3

歳入決算額は、前年度に比べ1,166万円(2.3%)減少しています。これは、主に繰入金が増加したものの、国庫支出金が1,633万円(28.5%)、市債が960万円(16.9%)それぞれ減少したことによるものです。

使用料収入状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
調 定 額	98,255	96,876	97,146	1,379	1.4
収 入 済 額	96,008	93,942	93,842	2,066	2.2
不 納 欠 損 額	78	22	1	56	254.5
収 入 未 済 額	2,169	2,912	3,303	△ 743	△ 25.5
収 納 率	97.7	97.0	96.6	0.7	—

使用料の収納率は、97.7%で、前年度に比べ0.7ポイント向上しています。

収入未済額は、前年度に比べ74万円(25.5%)減少しています。引き続き収入未済額の減少に努めていただきたい。

#### ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総 務 費	141,691	28.2	126,638	24.6	15,053	11.9
農業集落排水施設建設費	98,645	19.6	124,794	24.3	△ 26,149	△ 21.0
公 債 費	262,449	52.2	262,805	51.1	△ 356	△ 0.1
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	502,785	100.0	514,237	100.0	△ 11,452	△ 2.2

歳出決算額は、前年度に比べ1,145万円(2.2%)減少しています。これは、総務費が1,505万円(11.9%)増加したものの、農業集落排水施設建設費が2,614万円(21.0%)減少したことによるものです。総務費の増は、主に工事請負費(市道宇山柏江線ほか下水道管更生工事、長谷農集排災害応急復旧に伴う工事)によるものです。

水洗化率は、前年度に比べ3.5ポイント向上して87.6%となっています。

(12) 漁業集落排水事業特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	216,546,000円		
調 定 額	214,427,194円	(予算現額に対する割合	99.0%)
収 入 済 額	213,435,616円	(予算現額に対する割合	98.6%)
		(調定額に対する割合	99.5%)
歳 出 決 算 額	213,435,616円	(予算現額に対する割合	98.6%)
歳入歳出差引額	0円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額、歳出決算額は、ともに2億1,343万円、歳入歳出差引額は、0円です。

主な事業は、11地区の処理場の維持管理事業です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	1,709	0.8	2,922	1.4	△ 1,213	△ 41.5
使用料及び手数料	34,272	16.0	34,380	15.8	△ 108	△ 0.3
県 支 出 金	4,645	2.2	4,645	2.1	0	0.0
財 産 収 入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
繰 入 金	172,808	81.0	172,938	79.6	△ 130	△ 0.1
繰 越 金	0	0.0	1,000	0.5	△ 1,000	皆減
諸 収 入	0	0.0	1,379	0.6	△ 1,379	皆減
計	213,436	100.0	217,266	100.0	△ 3,830	△ 1.8

歳入決算額は、前年度に比べ383万円(1.8%)減少しています。これは、主に諸収入が137万円(皆減)、繰越金が100万円(皆減)、分担金及び負担金が121万円(41.5%)それぞれ減少したことによるものです。

分担金の収納率は、85.3%で、前年度に比べ4.0ポイント低下しています。

使用料収入状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
調 定 額	34,992	35,239	34,988	△ 247	△ 0.7
収 入 済 額	34,272	34,380	34,215	△ 108	△ 0.3
不 納 欠 損 額	7	7	0	0	0.0
収 入 未 済 額	714	853	773	△ 139	△ 16.3
収 納 率	97.9	97.6	97.8	0.3	—

使用料の収納率は、97.9%で、前年度に比べ0.3ポイント向上しています。

収入未済額は、71万円で、前年度に比べ13万円(16.3%)減少しています。引き続き収入未済額の減少に努めていただきたい。

#### ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総 務 費	93,703	43.9	85,277	39.3	8,426	9.9
漁業集落排水施設建設費	0	0.0	901	0.4	△ 901	皆減
公 債 費	119,732	56.1	131,087	60.3	△ 11,355	△ 8.7
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	213,436	100.0	217,266	100.0	△ 3,830	△ 1.8

歳出決算額は、前年度に比べ383万円(1.8%)減少しています。これは、総務費が842万円(9.9%)増加したものの、公債費が1,135万円(8.7%)減少したことによるものです。

水洗化率は、前年度に比べ2.4ポイント向上して72.5%となっています。引き続き水洗化の普及促進に努めていただきたい。

(13) 小規模集合排水処理事業特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	14,340,000円		
調 定 額	13,787,194円	(予算現額に対する割合	96.1%)
収 入 済 額	13,753,584円	(予算現額に対する割合	95.9%)
		(調定額に対する割合	99.8%)
歳 出 決 算 額	13,753,584円	(予算現額に対する割合	95.9%)
歳入歳出差引額	0円		

当年度の決算額は、前記のとおりで、歳入決算額、歳出決算額は、ともに1,375万円で、歳入歳出差引額は、0円です。

主な事業は、猿戸地区等3地区の処理場の維持管理事業です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
使用料及び手数料	886	6.4	916	6.7	△ 30	△ 3.3
繰 入 金	12,868	93.6	12,807	93.3	61	0.5
計	13,754	100.0	13,722	100.0	31	0.2

歳入決算額は、前年度に比べ3万円(0.2%)増加しています。

使用料収入状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
調 定 額	919	947	981	△ 28	△ 3.0
収 入 済 額	886	916	949	△ 30	△ 3.3
不 納 欠 損 額	0	0	0	0	—
収 入 未 済 額	34	32	33	2	6.3
収 納 率	96.3	96.6	96.7	△ 0.3	—

使用料の収納率は、96.3%で、前年度に比べ0.3ポイント低下しています。受益者負担の原則からも収入未済額の減少に努めていただきたい。

ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総 務 費	2,927	21.3	2,896	21.1	31	1.1
公 債 費	10,827	78.7	10,827	78.9	0	0.0
計	13,754	100.0	13,722	100.0	31	0.2

歳出決算額は、前年度に比べ3万円(0.2%)増加しています。

(14) 生活排水処理事業特別会計

ア 決算の概要

予 算 現 額	56,614,000円		
調 定 額	56,918,530円	(予算現額に対する割合	100.5%)
収 入 済 額	56,580,700円	(予算現額に対する割合	99.9%)
		(調定額に対する割合	99.4%)
歳 出 決 算 額	56,580,700円	(予算現額に対する割合	99.9%)
歳入歳出差引額	0円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額、歳出決算額は、ともに5,658万円で、歳入歳出差引額は、0円です。主な事業は、市町村設置型合併浄化槽(直川、米水津及び蒲江地区)の維持管理事業及び生活排水処理施設建設事業です。

イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	916	1.6	928	1.7	△ 12	△ 1.3
使用料及び手数料	33,084	58.5	31,857	57.6	1,227	3.9
国庫支出金	4,331	7.7	1,746	3.1	2,585	148.1
県支出金	740	1.3	737	1.3	3	0.4
財産収入	0	0.0	0	0.0	0	—
繰入金	15,010	26.5	14,759	26.7	251	1.7
市債	2,500	4.4	5,300	9.6	△ 2,800	△ 52.8
計	56,581	100.0	55,327	100.0	1,254	2.3

歳入決算額は、前年度に比べ 125 万円 (2.3%) 増加しています。これは、主に市債が 280 万円 (52.8%) 減少したものの、国庫支出金が 258 万円 (148.1%)、使用料及び手数料が 122 万円 (3.9%) それぞれ増加したことによるものです。

使用料収入状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
				増減額	増減率
調定額	33,422	32,235	31,990	1,187	3.7
収入済額	33,084	31,857	31,556	1,227	3.9
不納欠損額	35	10	90	25	250.0
収入未済額	303	369	344	△ 66	△ 17.9
収納率	99.0	98.8	98.6	0.2	—

使用料の収納率は、99.0%で、前年度に比べ 0.2 ポイント向上しています。

収入未済額は、30 万円で、前年度に比べ 6 万円 (17.9%) 減少しています。引き続き収入未済額の減少に努めていただきたい。

## ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
総 務 費	39,238	69.4	37,908	68.5	1,330	3.5
生活排水処理施設建設費	7,885	13.9	8,307	15.0	△ 422	△ 5.1
公 債 費	9,458	16.7	9,113	16.5	345	3.8
計	56,581	100.0	55,327	100.0	1,254	2.3

歳出決算額は、前年度に比べ125万円(2.3%)増加しています。生活排水処理施設建設費が前年度に比べ42万円(5.1%)減少したものの、総務費が133万円(3.5%)増加したことによるものです。

### (15) 飲料水供給事業特別会計

#### ア 決算の概要

予 算 現 額	41,641,000円		
調 定 額	37,755,573円	(予算現額に対する割合	90.7%)
収 入 済 額	36,308,573円	(予算現額に対する割合	87.2%)
		(調定額に対する割合	96.2%)
歳 出 決 算 額	36,106,573円	(予算現額に対する割合	86.7%)
歳入歳出差引額	202,000円		

当年度の決算額は、上記のとおりで、歳入決算額は、3,630万円、歳出決算額は、3,610万円で、歳入歳出差引額は、20万円です。

主な事業は、飲料水供給事業維持管理事業です。

## イ 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
分担金及び負担金	27	0.1	630	0.7	△ 603	△ 95.7
使用料及び手数料	4,238	11.7	4,097	4.5	141	3.4
国庫支出金	0	0.0	17,053	18.7	△ 17,053	皆減
県支出金	0	0.0	3,610	4.0	△ 3,610	皆減
繰入金	31,986	88.1	35,008	38.4	△ 3,022	△ 8.6
繰越金	0	0.0	187	0.2	△ 187	皆減
諸収入	0	0.0	4,387	4.8	△ 4,387	皆減
市債	0	0.0	25,300	27.8	△ 25,300	皆減
消費税還付金	58	0.1	821	0.9	△ 763	△ 92.9
計	36,309	100.0	91,093	100.0	△ 54,784	△ 60.1

歳入決算額は、前年度に比べ5,478万円(60.1%)減少しています。これは、主に市債、国庫支出金、諸収入、県支出金、繰越金が前年度に比べそれぞれ皆減したことによるものです。

## ウ 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりです。

(単位：千円、%)

区 分	平成26年度		平成25年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
飲料水供給事業費	10,958	30.3	60,363	66.3	△ 49,405	△ 81.8
公債費	25,149	69.7	30,730	33.7	△ 5,581	△ 18.2
予備費	0	0.0	0	0.0	0	—
計	36,107	100.0	91,093	100.0	△ 54,986	△ 60.4

歳出決算額は、前年度に比べ5,498万円(60.4%)減少しています。これは、飲料水供給事業費が4,940万円(81.8%)、公債費が558万円(18.2%)それぞれ減少したことによるものです。飲料水供給事業費の減は、主に宇目木浦落水区域拡張事業の終了により工事請負費等が減少したことによるものです。